

中部国際空港の現状分析と 今後の利用促進に向けた検討

(一般財団法人) 運輸総合研究所
調査事業部 研究員
吉澤 智幸

2017年11月30日

本日の報告内容

1. 研究の背景と目的
2. 中部国際空港と他空港の比較
3. 中部国際空港に関する意識調査
4. 今後の利用促進に向けた提言

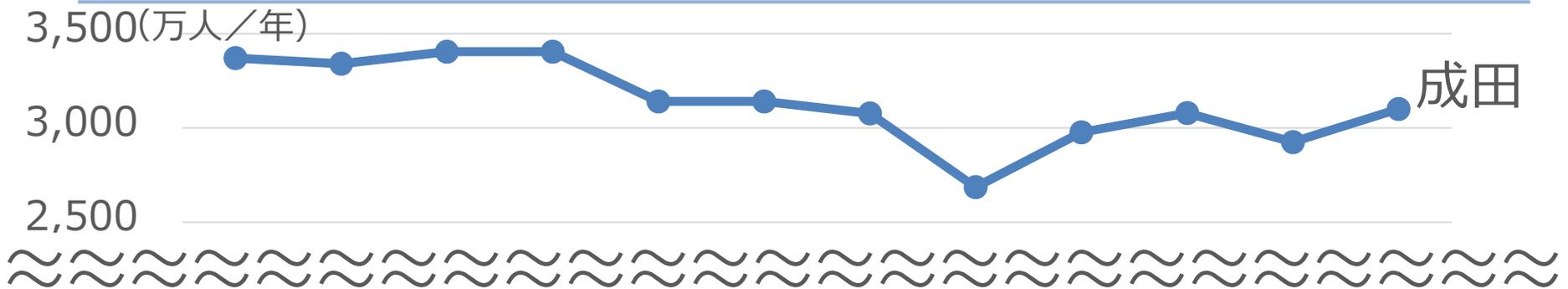
1-1 研究の背景

- 中部国際空港は開港から10年以上が経過
 - ・開港当初から黒字経営
 - ・近年は、旅客数、発着回数も堅調推移
- 一方、空港を取り巻く環境は、大きく変化
 - ・羽田空港の再国際化
 - ・関西2空港の経営統合
 - ・オープンスカイ交渉の推進
 - ・LCCの台頭

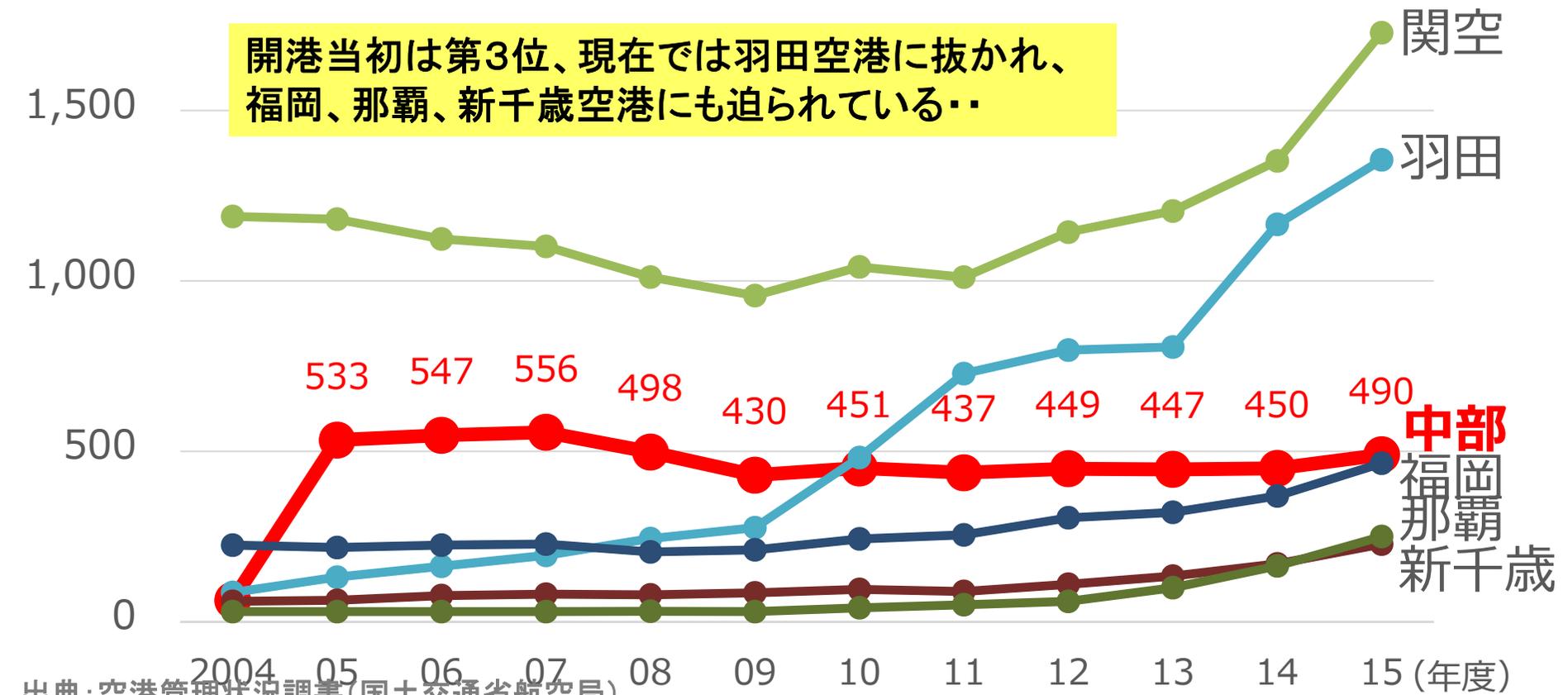


国内外において空港間競争の時代

1-2 国際線の航空旅客数の推移



開港当初は第3位、現在では羽田空港に抜かれ、福岡、那覇、新千歳空港にも迫られている..



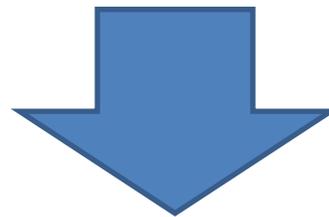
出典: 空港管理状況調査(国土交通省航空局)

1-3 研究の目的

我が国の政策は、国際競争力の強化を目指し、

- 首都圏空港の更なる機能強化を推進
- 東京～名古屋間でリニア新幹線が開通予定

刻々と変化する社会情勢を踏まえ、今一度、国際拠点空港である中部国際空港のあり方について検討するべきでは？



開港から現在までの状況を振り返り、
今後の更なる利用促進に向け、何が必要かを検討

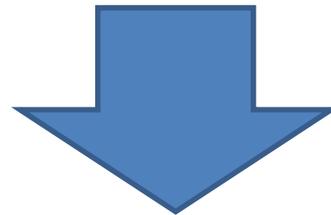
1-4 研究の着眼点

過去の調査による中部国際空港に関する提言（一例）

【SWOT分析を踏まえた6つの基本戦略】

- ①中部圏の産業集積と伴走するビジネス航空需要の増進
- ②世界のインバウンドニーズに応える魅力創造
- ③中部圏のグローバル化を促すアウトバウンドニーズの創出
- ④航空需要の多様化への積極的対応
- ⑤スーパーメガリージョンの要の地域の形成
- ⑥信頼性で選ばれる空港の形成

中部圏航空・空港政策の戦略調査（（公財）中部圏社会経済研究所・平成27年3月）



具体的な取り組みについては、既に十分整理されているが、
優先的に何を取り組むべきか検討することが重要では？

本日の報告内容

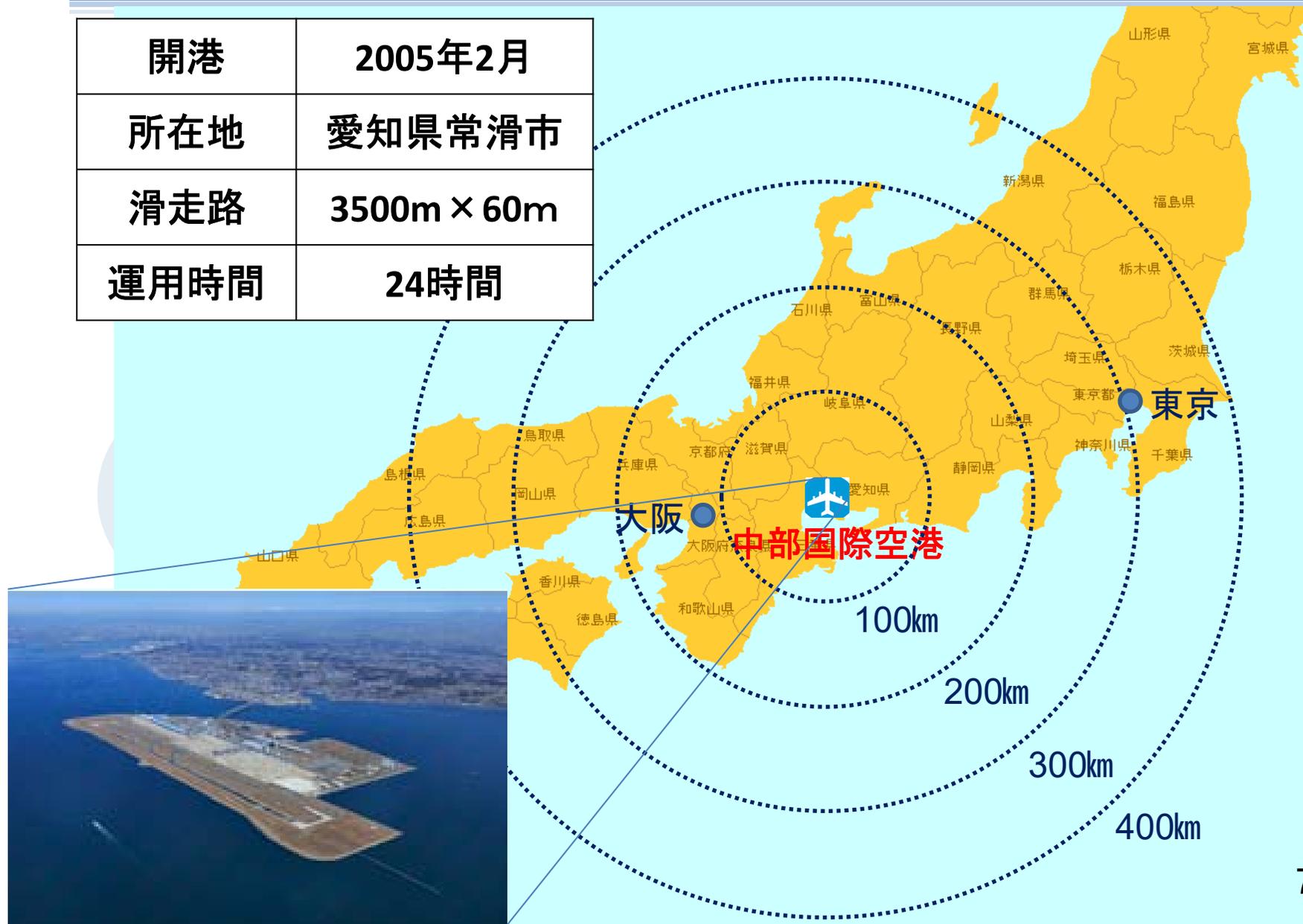
1. 研究の背景と目的
2. 中部国際空港と他空港の比較
3. 中部国際空港に関する意識調査
4. 今後の利用促進に向けた提言



他空港との比較を通して、
中部国際空港が現在置かれている状況を把握

2-1 中部国際空港の位置

開港	2005年2月
所在地	愛知県常滑市
滑走路	3500m × 60m
運用時間	24時間



2-2 中部国際空港へのアクセス

※2017年6月時点



鉄道(名古屋⇄空港)	
所要時間	約28分
特急料金	1,230円

空港バス(名古屋⇄空港)	
所要時間	約55分
料金	1,500円

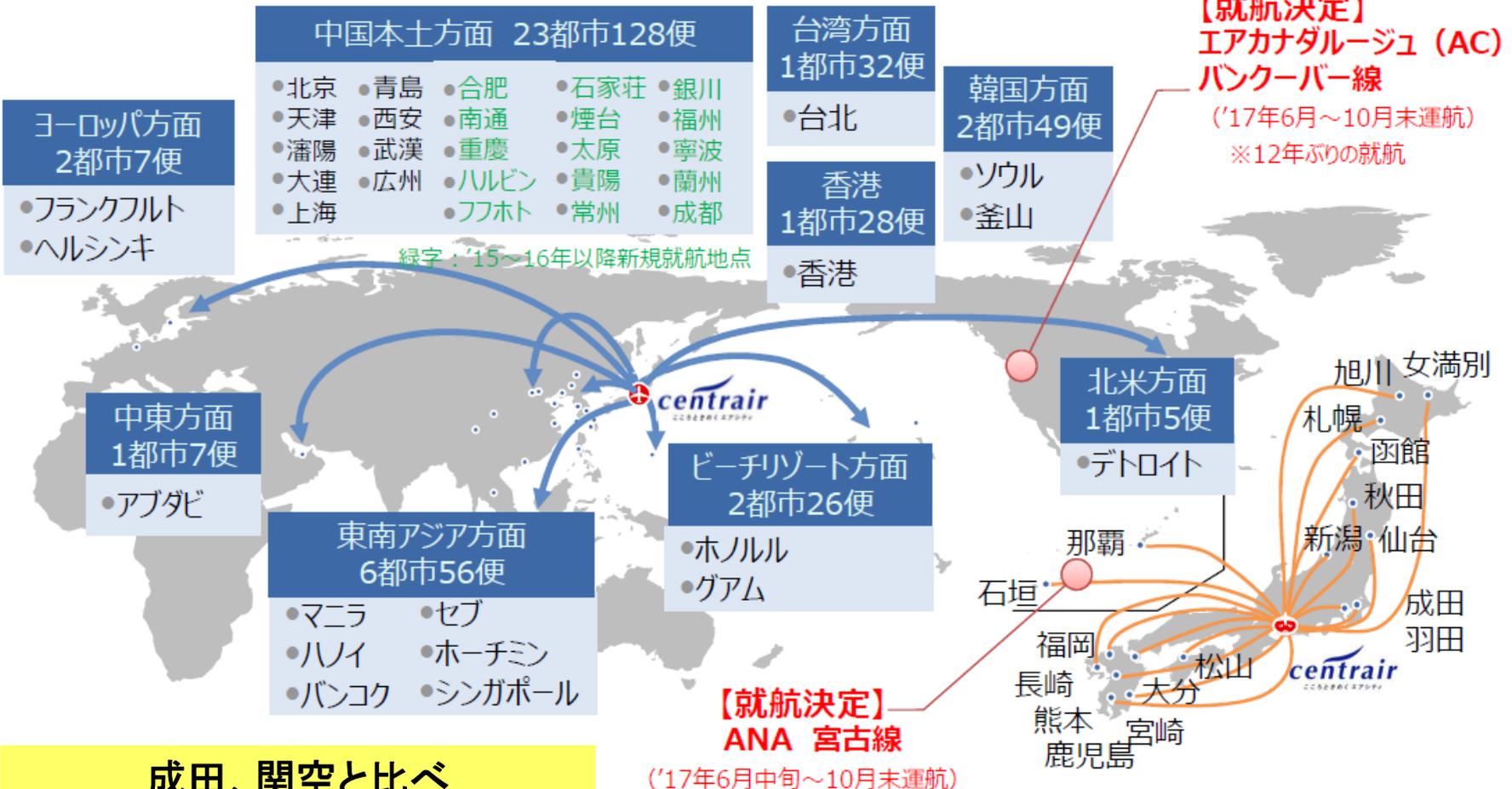
駐車場(空港内)	
収容台数	5,800台
営業時間	24時間
料金	最大1,500円/日

2-3 中部国際空港の航空ネットワーク

国際線 - 冬ダイヤ -

※2017年3月時点

2017年3月 39都市 338便/週



成田、関空と比べ
国際線は39都市に留まる

国内線

2017年3月 18都市 81便/日 9 5

2-4 最近の動向

ジェットスター・ジャパン

5月24日「中部国際空港に拠点を開設」



Jetstar

2017年5月24日

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン、中部国際空港に拠点を開設

- ・ 今後の機材数増強を見据え、2018年春をめどに中部国際空港を拠点化
- ・ 拠点化により中部発着路線の拡充や、利便性および運航品質の向上を加速
- ・ 拠点化を契機に中部国際空港との連携をさらに強化し、中部地域の経済発展に貢献

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役会長:片岡 優 以下、ジェットスター・ジャパン)は、2018年春をめどに、中部国際空港に、成田国際空港、関西国際空港に次ぐ拠点を開設することを決定しました。ジェットスター・ジャパンは、今後28機まで機材を増やす

2-4 最近の動向

エアアジア・ジャパン

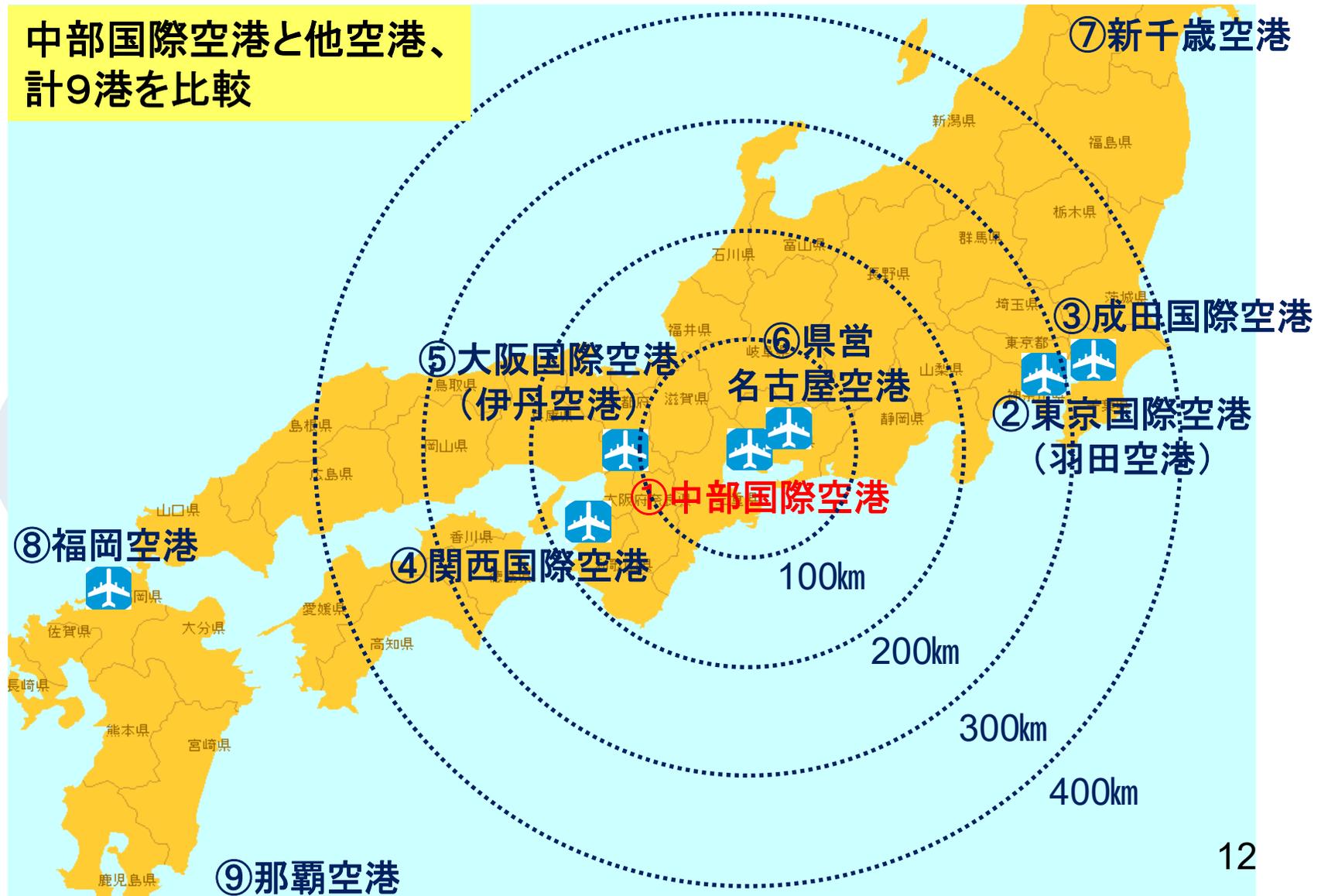
10月29日「中部国際空港-新千歳空港」で初便就航



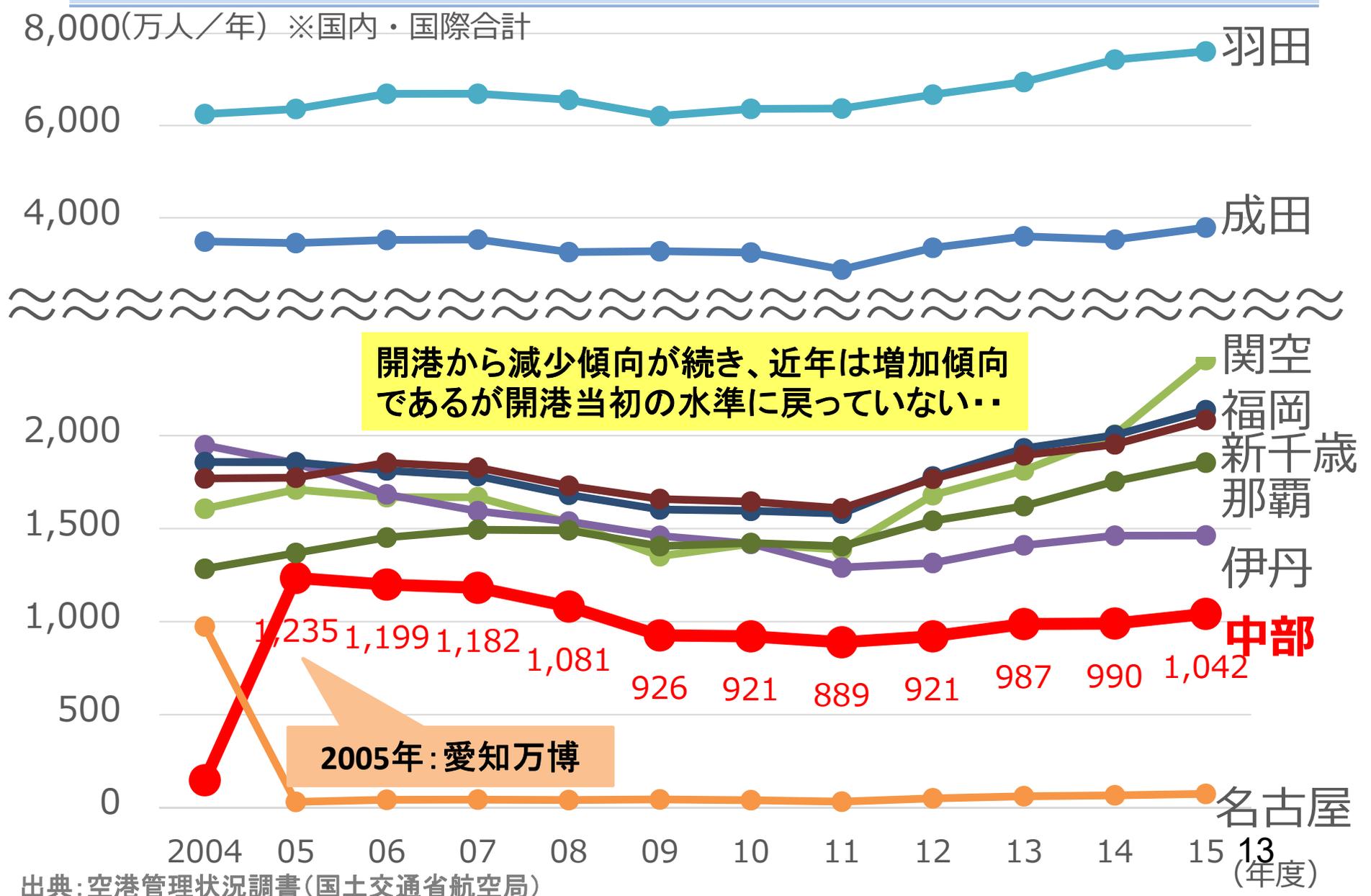
写真:エアアジア・ジャパン HP・プレスリリース

2-5 比較対象空港

中部国際空港と他空港、
計9港を比較

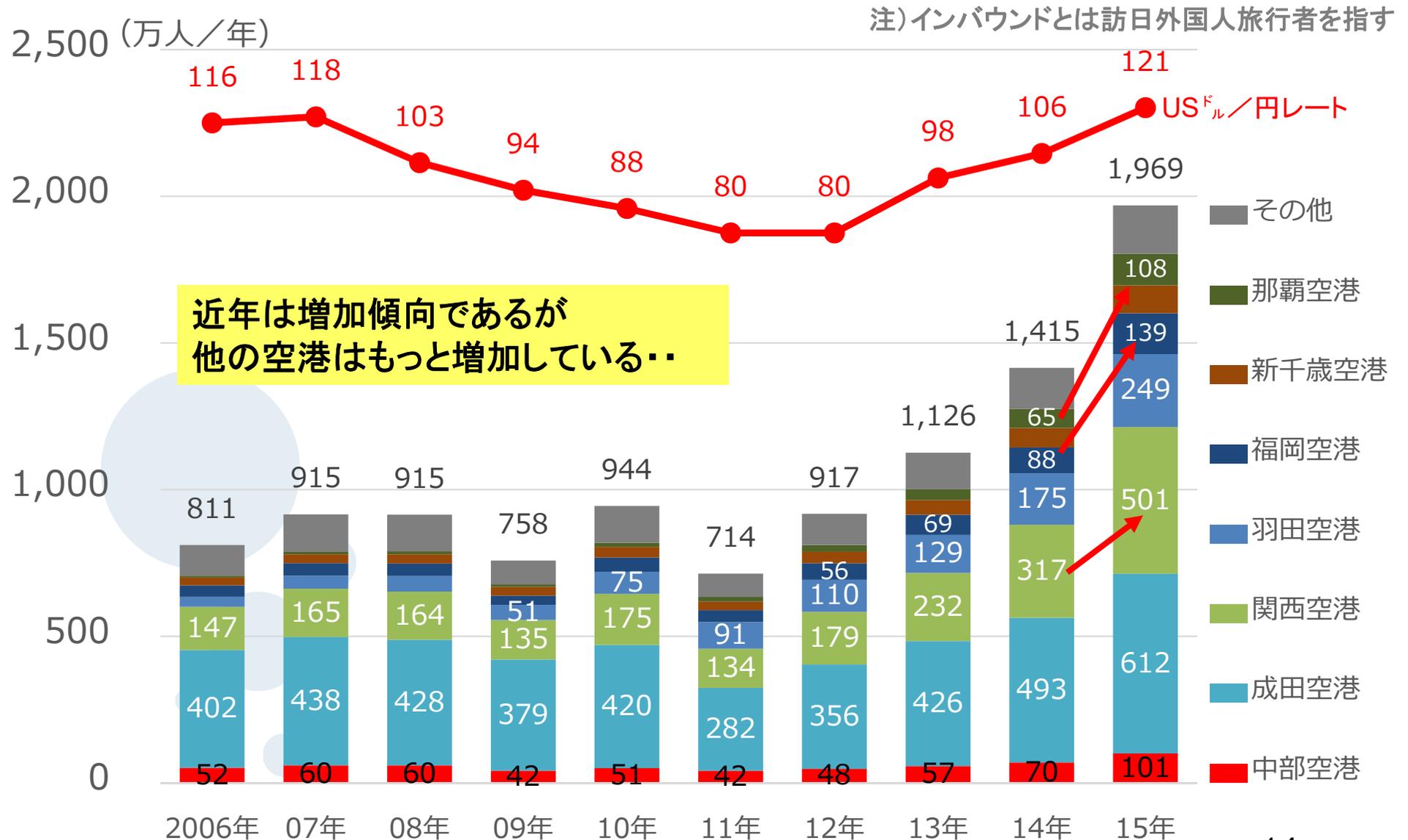


2-6 国内線+国際線の航空旅客数の推移



出典：空港管理状況調査(国土交通省航空局)

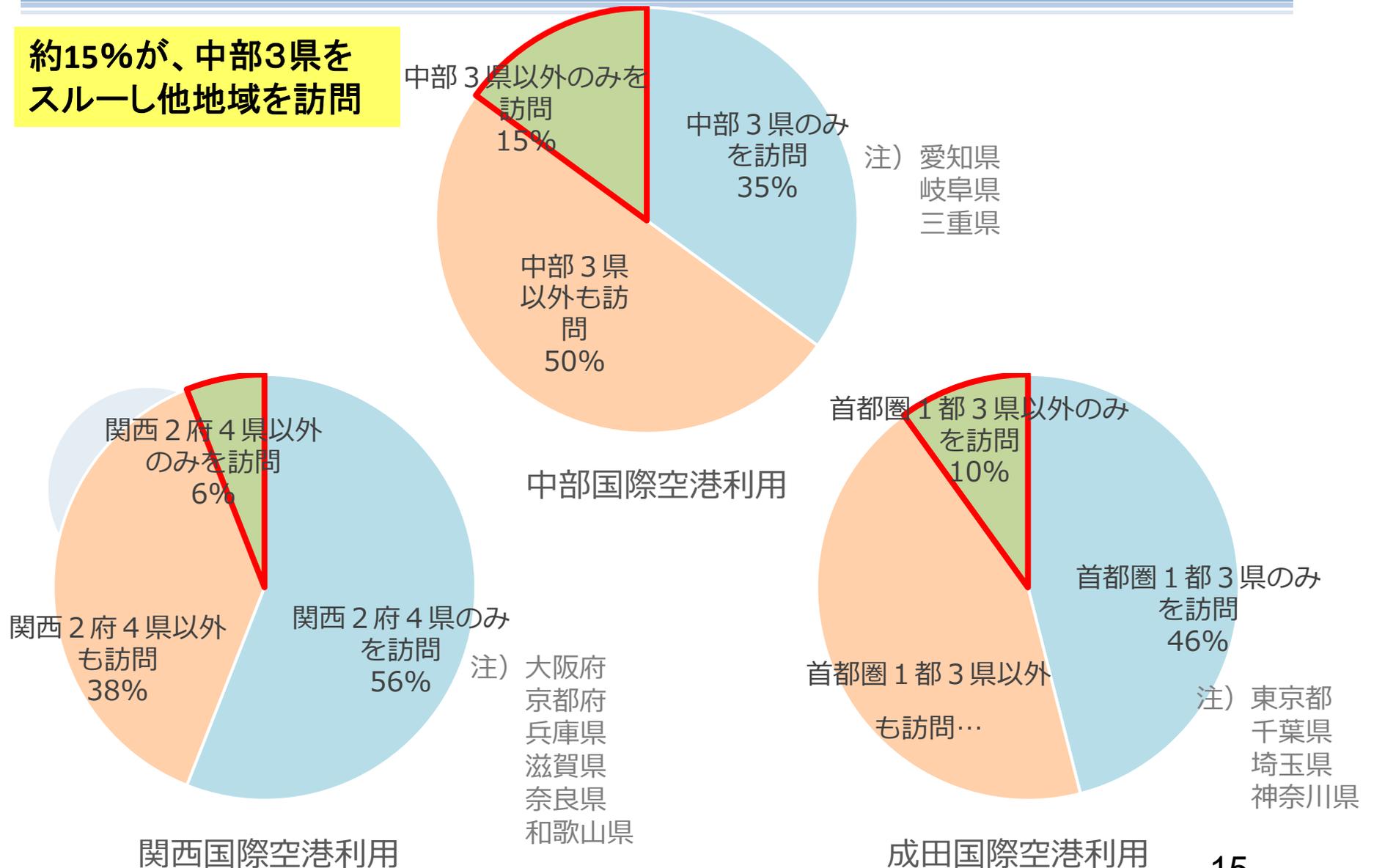
2-7 インバウンド需要



出典:各年(暦年)の出入国管理統計(国土交通省航空局)を基に作成

2-8 外国人訪問者の周遊パターン

約15%が、中部3県をスルーし他地域を訪問



2-9 人気の観光スポットランキング

2015年4月～2016年3月の1年間にトリップアドバイザー上の日本の観光スポットに投稿された外国語の口コミの評価、投稿数などをもとに、トリップアドバイザー社が集計



2-9 人気の観光スポットランキング

順位	観光地名	所在地	順位	観光地名	所在地
1位	伏見稲荷大社	京都府京都市	16位	白谷雲水峡	鹿児島県屋久島町
2位	広島平和記念資料館 (原爆ドーム、広島平和記念公園)	広島県広島市	17位	成田山新勝寺	千葉県成田市
3位	宮島(厳島)	広島県廿日市市	18位	浅草	東京都台東区
4位	東大寺	奈良県奈良市	19位	大本山大聖院	広島県廿日市市
5位	サムライ剣舞シアター	京都府京都市	20位	兼六園	石川県金沢市
6位	新宿御苑	東京都新宿区	21位	沖縄美ら海水族館	沖縄県本部町
7位	奈良公園	奈良県奈良市	22位	立山黒部アルペンルート	富山県立山町
8位	鹿苑寺(金閣寺)	京都府京都市	23位	河口湖	山梨県富士河口湖町
9位	アキバフクロウ	東京都千代田区	24位	弥山	広島県廿日市市
10位	清水寺	京都府京都市	25位	明治神宮	東京都渋谷区
11位	箱根彫刻の森美術館	神奈川県箱根町	26位	京都駅ビル	京都府京都市
12位	高野山奥之院	和歌山県高野町	27位	サムライミュージアム	東京都新宿区
13位	禅林寺永観堂	京都府京都市	28位	ギア専用劇場 (ARTCOMPLEX1928)	京都府京都市
14位	三十三間堂	京都府京都市	29位	城崎温泉	兵庫県豊岡市
15位	栗林公園	香川県高松市	30位	白川郷合掌造り集落	岐阜県白川村

2-10 地元が推進する観光需要喚起策

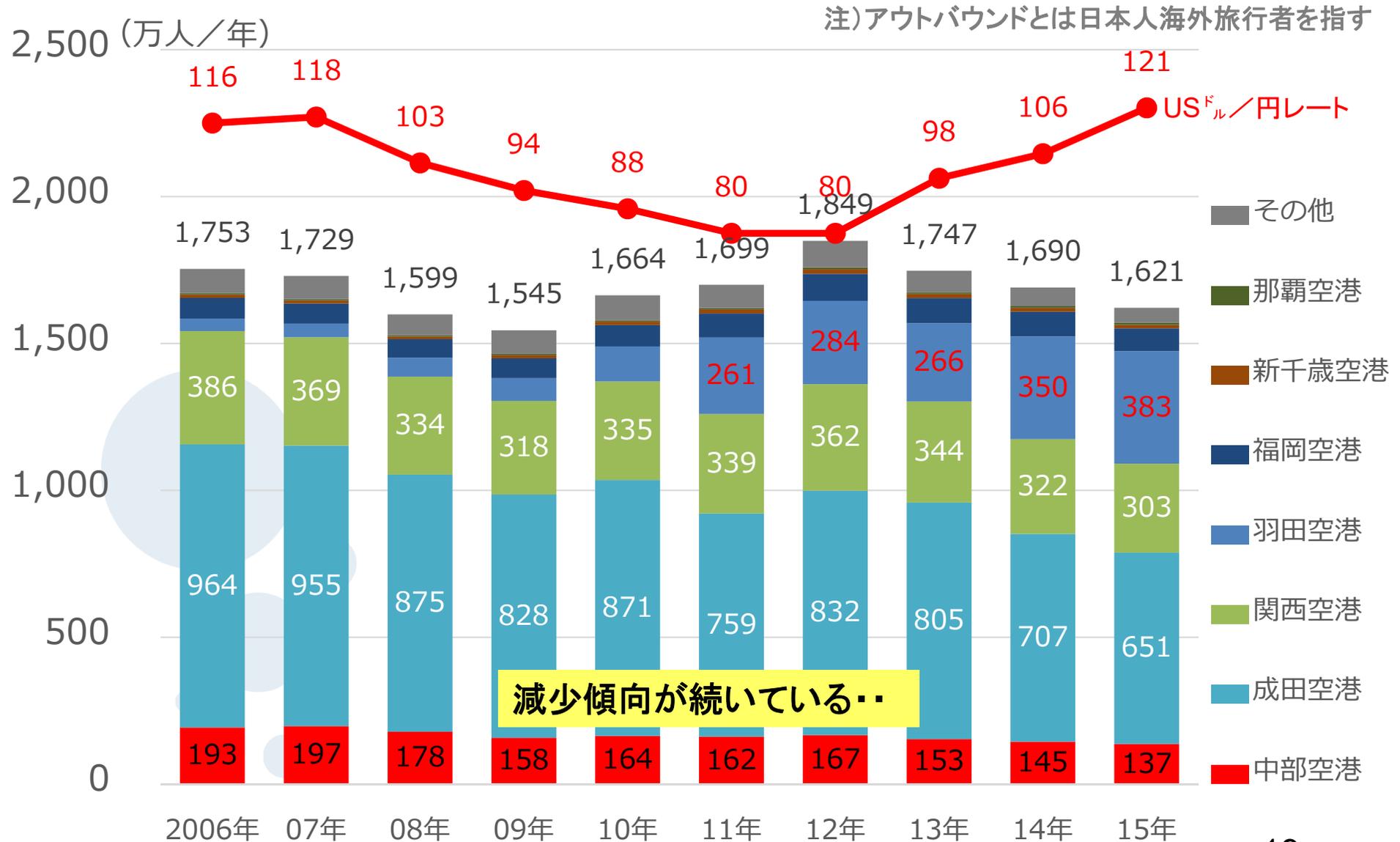


地域連携強化 - 地域の各種プロジェクトを航空需要に -				
	2017	2018	2019	2020~
愛知県	◆ロボカップ世界大会 (7/27-31) RoboCup 2017 Nagoya Japan ◆世界コスプレサミット (毎年夏季)		◆技能五輪全国大会 (2019年度、2020年度連続開催) ◆ツurisムEXPO (招致中 (大阪と競合)、2019年・2020年) ◆ラグビーワールドカップ (愛知・静岡) TRYfor ALL RUGBY 2019 AICHI TOYOTA ◆World Robot Summit (愛知・福島 2020年) ◆フットサルワールドカップ (招致中、2020年) ◆全国植樹祭 ◆アジア競技大会 (2026年)	
岐阜県	◆信長公450プロジェクト ◆清流の国ぎふ芸術祭 (4/15-6/11) ◆映画「君の名は」ツーリズム (飛騨市) ◆国際陶磁器フェスティバル美濃'17 (9/15-10/22) ◆杉原リスト (八百津町) ユネスコ世界記憶遺産登録 (申請中) ◆全国菓子大博覧会 (4/21-5/14)	岐阜市信長公450プロジェクト 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017	◆日本スポーツマスターズ 2019	◆関ヶ原合戦420周年 (2020年) ◆世界農業遺産「清流長良川の鮎」5周年 (2020年) ◆世界遺産「白川郷・五箇山 合掌造り集落」30周年 (2025年) ◆三重とこわか国体 (2021年)
三重県	◆ゆるキャラグランプリ (11/18-19) ゆるキャラグランプリ ◆F1日本グランプリ(10/6-8) ※2018年まで鈴鹿での開催決定済	お伊勢さん菓子博 2017 27th National Confectionery Exposition in Mie	◆熊野古道世界遺産15周年 ◆齋宮歴史博物館開館30周年	◆三重とこわか国体 ◆本居宣長生誕300年 (2030年) ◆伊勢神宮式年遷宮 (2033年、第63回)
広域 東海3県周辺	◆富山 全国植樹祭		◆福井しあわせ元気国体	◆福井しあわせ元気国体 ※赤字は空港島内整備予定の国際展示場で開催予定

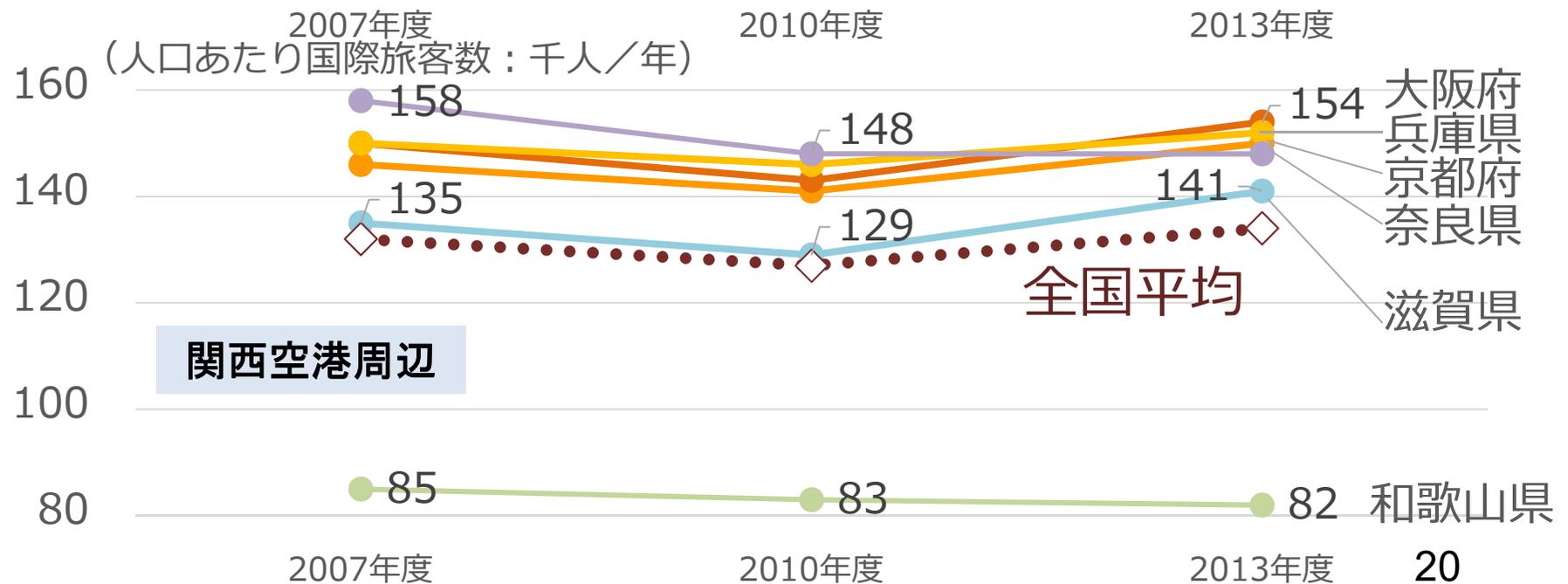
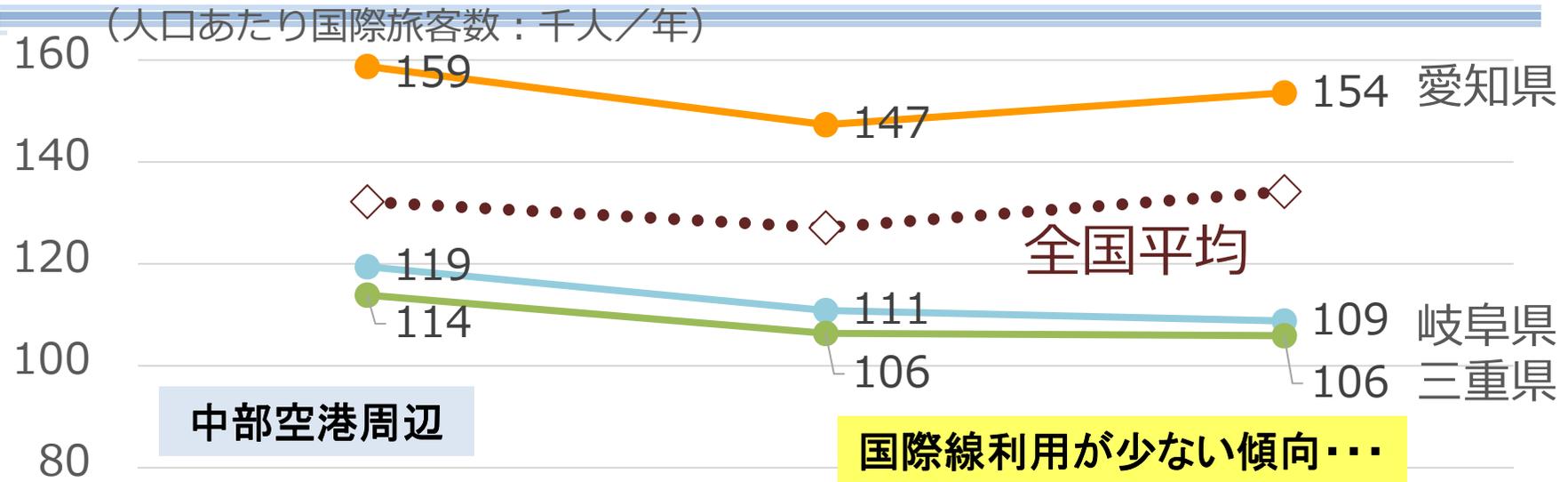
出典：中部国際空港株式会社提供資料

昇龍道キャンペーンをはじめとした観光需要喚起策を展開しており、愛知県、岐阜県、三重県などで魅力を高める取り組みが既に実施

2-11 アウトバウンド需要

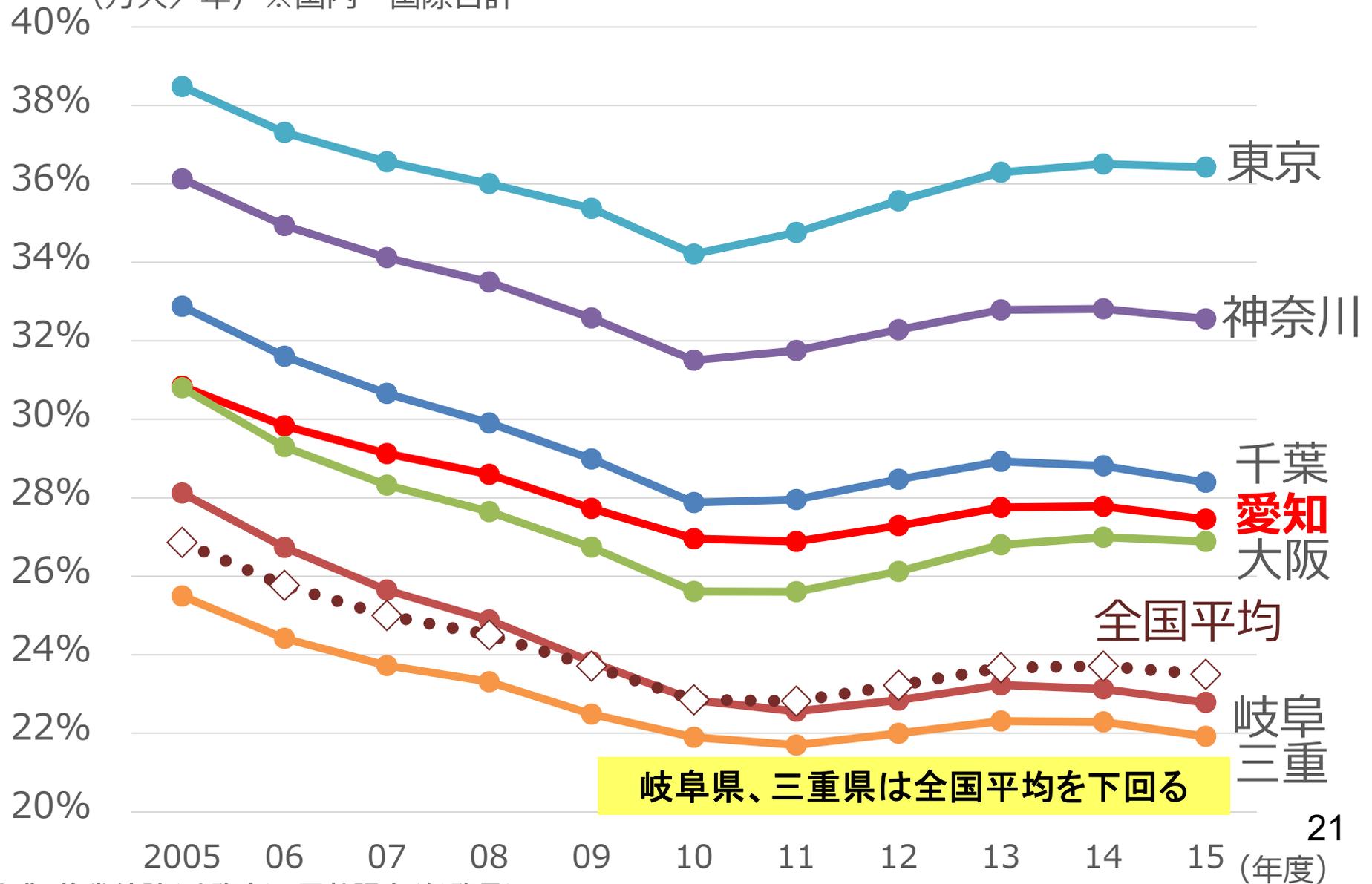


2-12 人口あたり国際旅客数



2-13 パスポート取得率

(万人/年) ※国内・国際合計



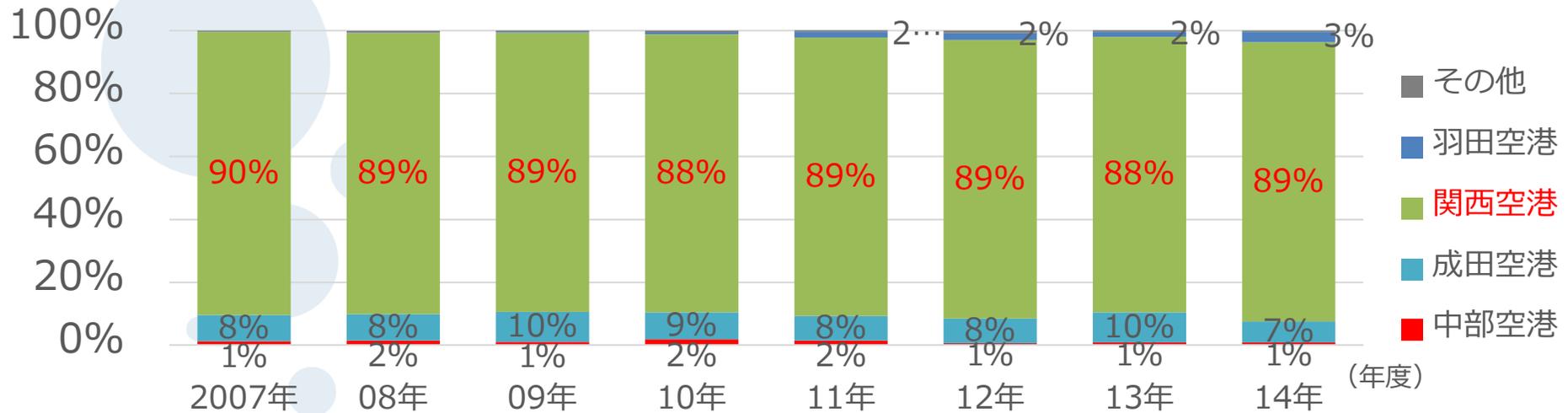
岐阜県、三重県は全国平均を下回る

出典：旅券統計(外務省)、国勢調査(総務局)

2-14 国際旅客における空港別利用率

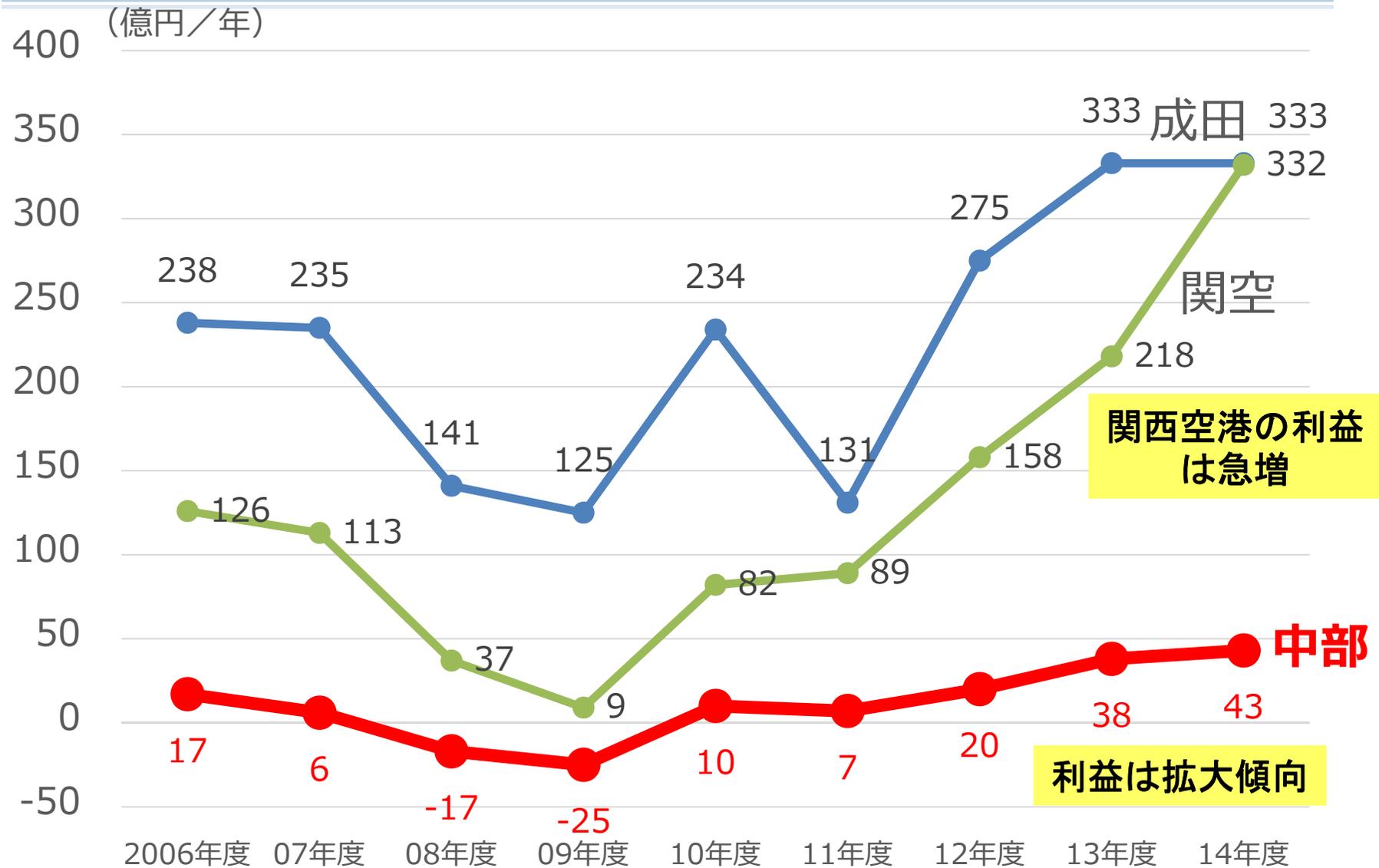


中部3県（愛知県、岐阜県、三重県）住民の国際線利用空港のシェア

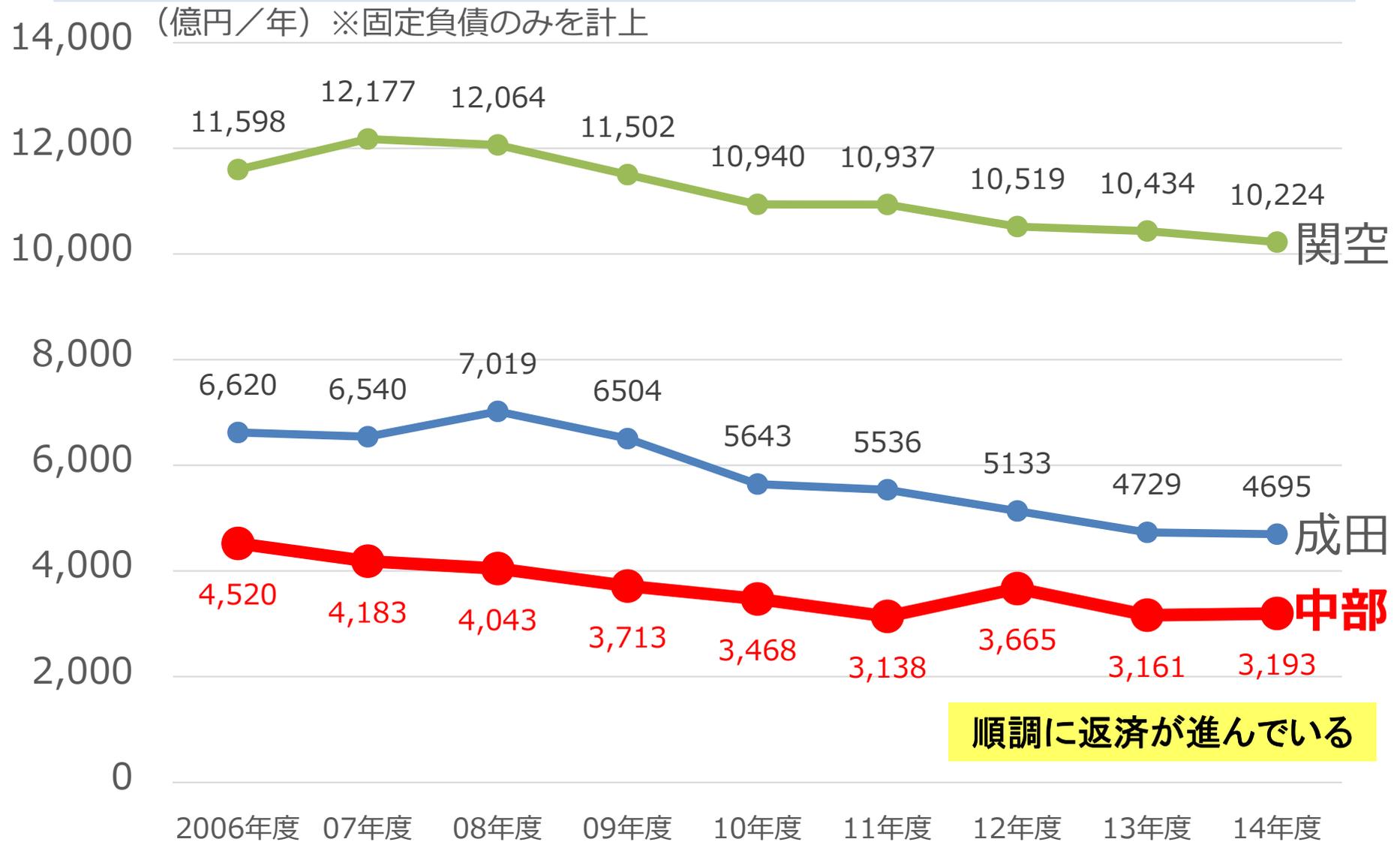


関西2府4県（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県）住民の国際線利用空港のシェア

2-15 経常利益

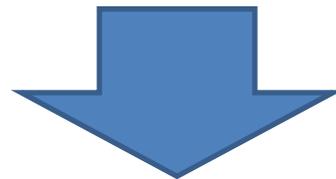


2-16 長期債務



2-17 中部空港と他空港の比較のまとめ

- 旅客数は増加傾向にあるが、他空港は中部空港よりもさらに増加している
- インバウンド旅客の目的地が、中部圏以外になっている可能性がある
- 中部圏のアウトバウンド需要は減少傾向にあり、他空港の利用へシフトしている傾向
- 利益は黒字が継続し、経営は安定しているが、他空港はそれ以上に大きな利益を上げている



中部国際空港単独で見ると、需要や利益は堅調に推移しているが、他空港と比較すると、ポジションは低下

本日の報告内容

1. 研究の背景と目的
2. 中部国際空港と他空港の比較
- 3. 中部国際空港に関する意識調査**
4. 今後の利用促進に向けた提言



**優先課題を抽出するため、中部国際空港の地元
住民や空港関係者の認識を把握**

3-1 調査概要

地元住民アンケート

調査対象	愛知県、岐阜県、三重県
母集団	11,330(千人)※夜間人口合計
取得サンプル数	5,156
取得抽出率	0.05%
調査方法	WEB方式
調査期間	3月9日(木)～3月10日(金)

(参考)平成27年度中部空港利用者数:1,042(千人)

平成25年国際旅客動態調査における中部空港の取得サンプル数:4,450

空港関係者アンケート

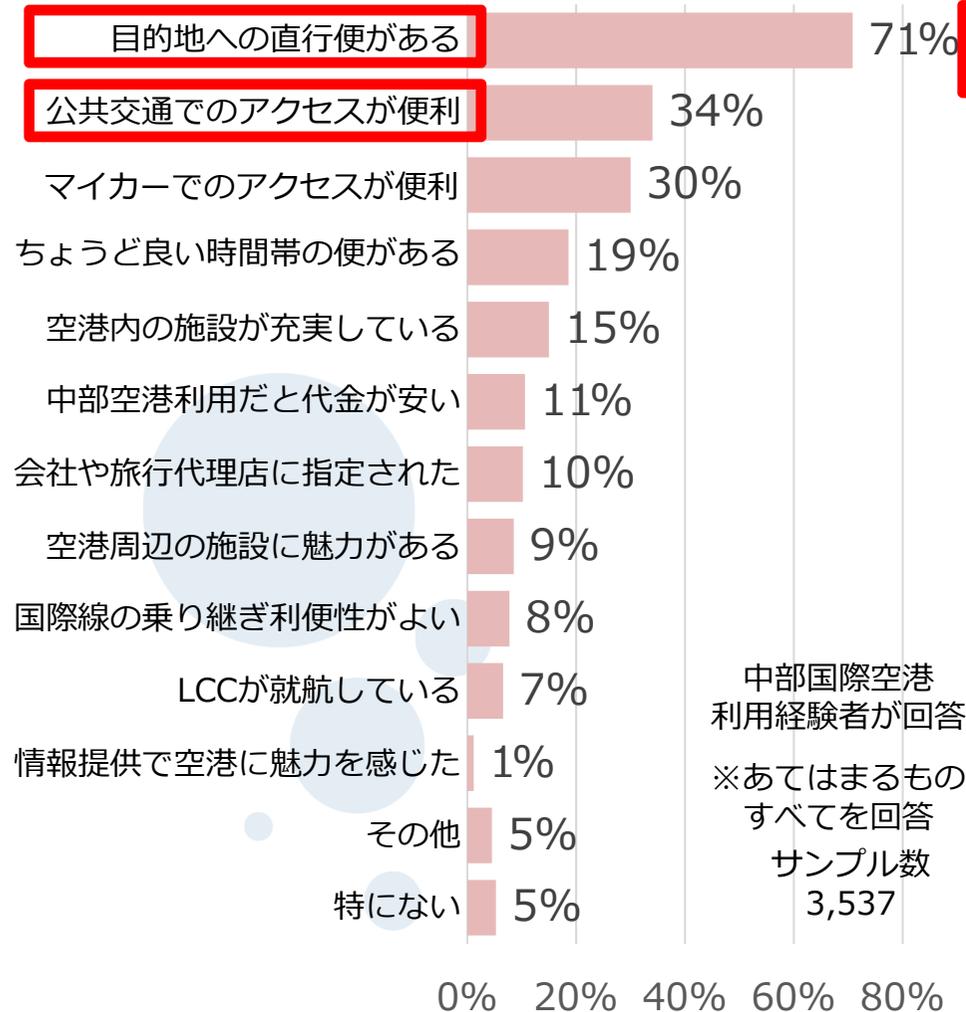
調査対象	<ul style="list-style-type: none">・地方自治体(地元3県、周辺自治体等)・産業界(地元関係団体等)・空港会社
------	---

3-2 調査項目

地元住民 アンケート	<ul style="list-style-type: none">• 居住地• 中部国際空港の利用経験の有無• 中部国際空港の利用目的• 中部国際空港を選択した理由• 中部国際空港があることによって受けた恩恵• 中部国際空港に今後期待すること
空港関係者 アンケート	<ul style="list-style-type: none">• 中部国際空港の課題に対する評価• 中部国際空港があることによる恩恵• 中部国際空港に今後期待すること

3-3 中部国際空港に対する評価

地元住民(空港選択理由)

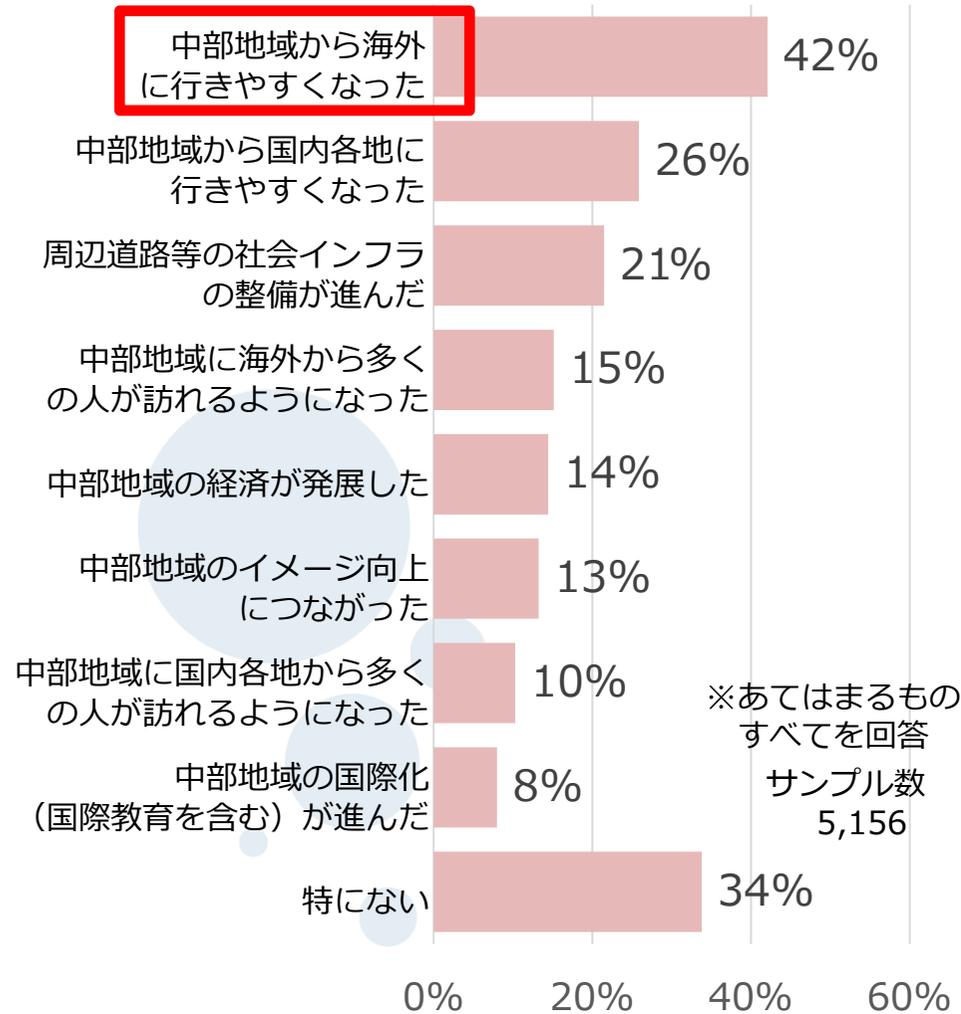


空港関係者(課題に対する評価)



3-4 空港があることによる恩恵

地元住民

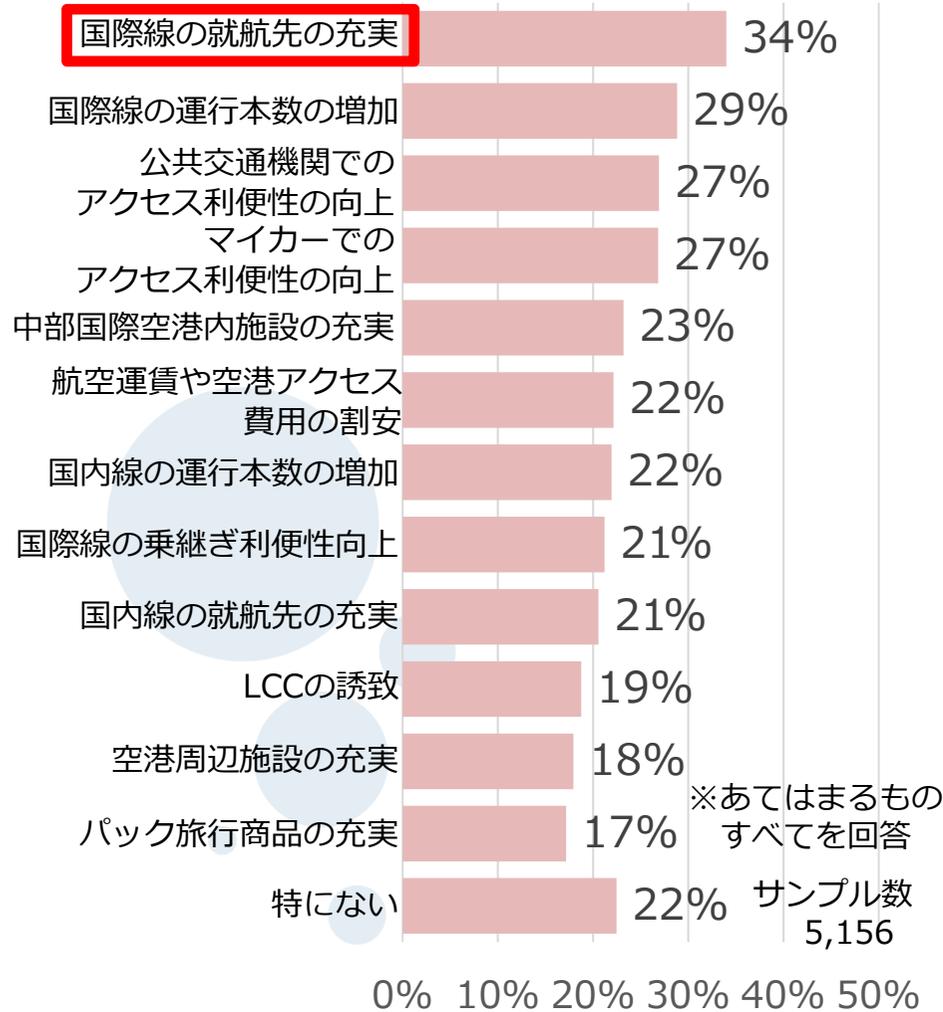


空港関係者

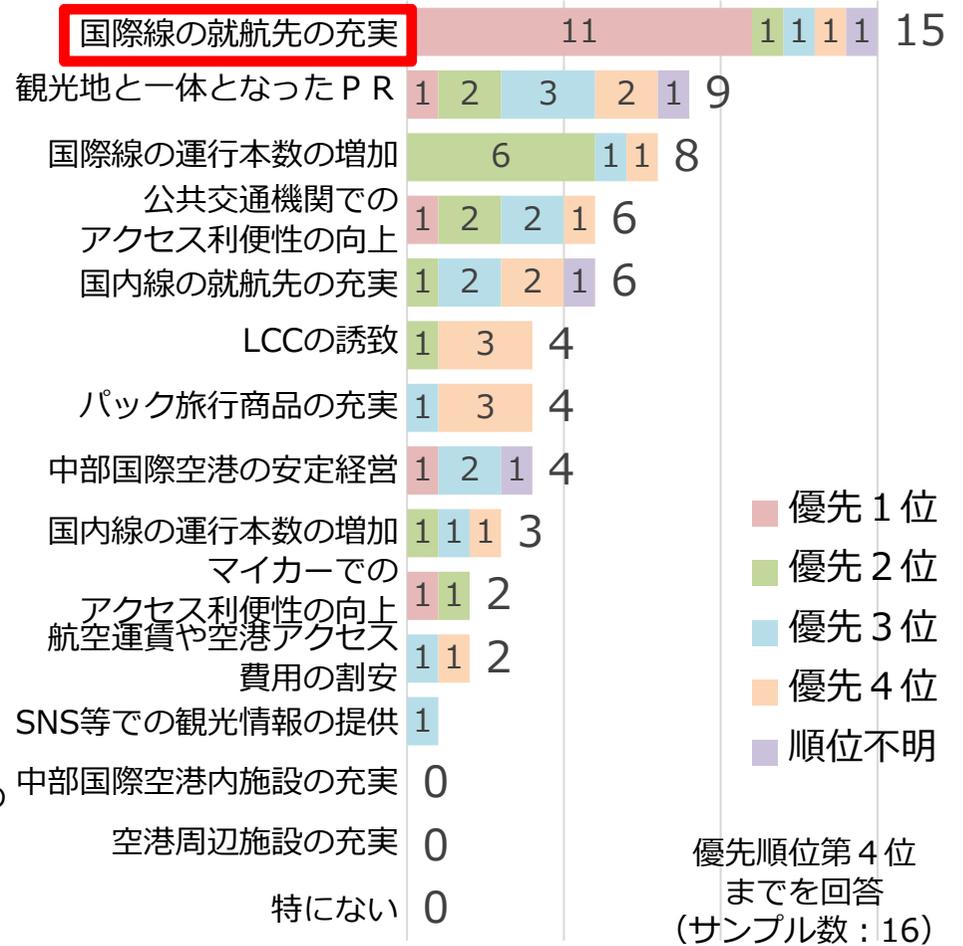


3-5 空港に今後期待すること

地元住民

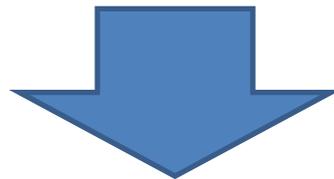


空港関係者



3-6 中部国際空港に関する意識調査のまとめ

- 空港に関する評価について、
 - 地元住民は目的地へ直行便があること
 - 空港関係者は訪日外国人の取り込みの必要性
- 空港があることで受けた恩恵について、
 - 地元住民は、海外に行きやすくなった
 - 空港関係者は、インフラ整備が進んだ
- 空港に今後期待することについて
 - 地元住民、空港関係者とも、国際線の就航先の充実



優先して取り組むべき施策は、国際線の就航先の充実

本日の報告内容

1. 研究の背景と目的
2. 中部国際空港と他空港の比較
3. 中部国際空港に関する意識調査
- 4. 今後の利用促進に向けた提言**



**これまでの知見を踏まえ、中部国際空港の
今後の利用促進に向けた提言を示す**

4-1 中部国際空港が抱える構造的環境

中部国際空港は・・・

- 後背圏は機械産業が盛んであり、
経済的に豊かな地域
- 東京圏及び関西圏の間に位置し、
両地域へのアクセス利便性が高い
- 利用状況は開港時より減少している
が、経営状況は安定

愛知県の県民所得は
全国2位

リニア中央新幹線も
整備予定

危機的状況に直面し
ていない



地元において、中部国際空港の重要性が共有されにくく、
危機感が生まれにくくなっているのでは？

4-2 今後の利用促進に向けた提言

- ① 地元関係者による認識の共有
- ② 目指すべき方向性の確認
- ③ 利用促進策の絞り込み
- ④ 関係者間の連携の強化



4-2 ①地元関係者による認識の共有

現状を評価し、「危機」意識を共有することが必要

現状から共有すべき懸念事項

- ① 中部国際空港の利用状況は近年増加傾向にあるが、開港時よりも減少しており、その経済波及効果は開港時よりも減少（2割減）
⇒他空港の追い上げもあり、今後さらに効果が低下する可能性
- ② 国内外の空港間競争に巻き込まれている
 - 首都圏空港⇒発着回数を増加させる動き
 - 関西国際空港⇒LCCを中心とした利用促進⇒効果的な利用促進策を実施しなければ相対的に利用が低下する可能性
- ③ 現状は「安定」しているが、①、②により、将来的に、空港が「危機」的な状況になる可能性

4-2 ② 目指すべき方向性の確認

地元関係者間で、どの方向性を目指すのかを共有し、
それに向かって邁進することが必要

空港が目指すべき方向性の選択肢

- ① 国際ハブ空港
(成田空港、羽田空港など)
- ② LCC拠点空港
(関西空港など)
- ③ 魅力的な観光地を後背圏にもつ地方空港
(新千歳空港、福岡空港など)

地理的に近い、成田空港、羽田空港、関西空港が、既に①及び②の機能を有している

①と②を見据えつつ、後背地の魅力を高め、
インバウンドの振興を図ることが重要ではないか？ 37

4-2 ③利用促進策の絞り込み

意識調査では「国際線の就航先の充実」を優先すべきと回答

国際線の就航先の充実に向けターゲットの絞り込みが必要

選択肢①

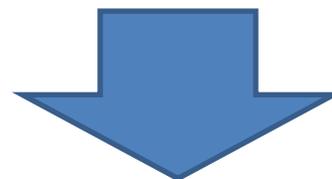
FSA(フルサービス)
or
LCC(格安航空会社)

FSAは首都圏空港の発着枠拡大に向けた投資を優先する可能性が大きい

選択肢②

長距離路線
or
短距離路線

長距離路線は、大きな投資となり確実な採算性が前提。現状ではリスクが高い



LCCの国際近距離路線の積極的な誘致

4-2 ④関係者間の連携の強化

利用促進策(例えば、国際路線の充実)を実行するには、今まで以上に地元の自治体、経済団体、観光団体、空港会社の連携が必要

(具体的検討案)

①観光地の魅力を高める

例えば、最も中部空港に近い愛知県の魅力を高める。

特に、外国人向けの情報発信の強化

既に昇龍道キャンペーン等で実施

②大胆なポートセールスを実施する

例えば、空港会社が実施する空港諸経費の低減策を地元地域で支援

おわりに

利用促進策の実施の中心となるのは、当事者である空港会社に加え、自治体、経済団体、観光団体等の地元関係者である。

そのため、

- ① 地元関係者が現状に対する危機意識を共有し、
- ② 中部国際空港の目指すべき方向性と
- ③ 優先的に取り組む方策について合意を図り、
(例えば、LCCの国際近距離路線の積極的な誘致)
- ④ 地元関係者間の連携を強化しつつ、

中部国際空港の利用促進を図ることを期待したい。

ご清聴ありがとうございました

本研究を進めるにあたっては、東京大学西村幸夫教授を座長とした学識経験者らからなる検討委員会を開催し、多大なるご指導、ご鞭撻を頂きました。また、研究にあたって、公益財団法人中部圏社会経済研究所様には多大なるご協力を頂きました。ここに記して感謝の意を表します。



出典：中部国際空港株式会社ホームページ

本研究は本研究所の自主研究により実施しているものであり、内容や見解は、すべて筆者の責任によるものです。